



校訓「豊かな心・生きる力」

令和5年2月1日

条南小学校だより

夢を育てる楽しい学校づくり 第12号 校長 中谷 昭代

Tel 288-8871 Fax 288-8872 jounan-es@m2.spacelan.ne.jp

月冴ゆる 寒さ厳しい 冬の夜 空見上げれば 澄んだ月あり 6年 太◇ 蒼◇
「冴ゆる」から、寒さ極まった、透明感、澄明感が伝わり、凜とした月が輝いている光景が浮かんできます。



感謝の心、敬う思い

1月20日から大寒に入り、26年ぶりの厳しい冷え込みが続いた1月でした。そのような中、早朝から通学路の歩道の除雪をしてくださったり、登下校の交通安全の見守りをしてくださったりと、条南っ子のためにお力をいただき心より感謝申し上げます。子供たちには、たくさんの方々のお力をいただいていることを伝え、感謝し相手を敬う心を育てたいと思います。「除雪をしていた



ら、『ありがとうございます。』『ご苦労様です。』と声をかけてくれる子がいて、除雪の疲れもすうっと消えました。」と、話してくださる方がいました。感謝の気持ちは、言葉に出すことで、初めて相手に伝わります。大人が感謝する会話から、子供も周りの人の好意に気づき、「ありがたい、めったにないことだ」と感謝する心、相手を敬う心が培われていきます。感謝の気持ちを言葉にして伝えることのすばらしさを子供たちに伝えていきたいと思います。

さて、2月に入り3日は節分、4日は立春と、春は近づいています。子供たちも4月からの進学、進級に向けて学級集団としての高みを目指して学校生活を送っています。縁あって同じクラスになり、共に学んできたかけがえのない学級の仲間です。「一期一会」、このメンバーで学び合うのも6年生はあと31日、1年から5年生は36日となりました。一日、一日の学びを大切に、2月の学校生活を送っていききたいと思います。

2月3日(金)は授業参観と3年ぶりの懇談会を予定しています。短い時間ですが、保護者の皆様と子供たちの成長について語り合いたいと思います。多数のご参加をお待ちしています。

水曜読書と「わたしの本だな」



R4年度津幡町生活状況調査より(R4年10月に津幡町小学生4年～6年実施)

平日1日当たり、どれくらい本を読みますか
(マンガ・雑誌は除きます) 条南小4年生～6年生228人

条南小	44人 19.3% 全く読まない	53人 23.2% 10分未満	73人 32.0% 10分～30分	37人 16.2% 30分～1時間	21人 9.2% 1時間以上
津幡町	23.6% 全く読まない	17.1% 10分未満	29.8% 10分～30分	17.7% 30分～1時間	11.8% 1時間以上

津幡町では、毎年、家庭での生活状況調査を4年生以上に行っています。左のグラフは、10月の時点での読書に関する調査項目の結果です。条南っ子の4,5,6年生の8割の児童は平日に家庭で読書をしているという結果ですが、読書時間は若干少なめという状況です。本校では、早く下校する水曜日を水曜読書の日と設定し、学校の図書館で本を借りて帰るように促

しています。10月からは「わたしの本だな」に読んだ感想を書く取組を全校で実施してきました。お家の方からの「わたしの本だな」へのコメントは読書への励みとなっています。ありがとうございます。

「わたしの本だな」は20ページ終了すると、シグナス図書館に提出し、賞状を戴きます。また、シグナスの図書館だよりにも名前が掲載されますのでご覧ください。読書をする心豊かな心になり、学習の基礎となる読解力が身に付きますので、すぐ横に読む本がある生活となるよう、引き続き働きかけていきます。水曜日はご家族で読書を楽しみませんか。



〈わたしの本だな と 読書賞〉

第15回 津幡町英語スピーチコンテスト

1月21日(土) 津幡町文化会館シグナスホール



グローバル社会を生き抜き子供たちに、英語によるコミュニケーションに興味関心を抱いてもらおうと、津幡町で開催されている英語スピーチコンテスト、今年で15年目となりました。

コンテスト終了後の審査委員長からのコメントに、「絶対失敗しない方法は1つあります。それは何も挑戦しないことです。しかし、それでは、何も始まらない。挑戦した皆さんは失敗するかもしれないけれど、その代わりに大きなものをつかみました。」とありました。

出場した皆さんは、11月頃からスピーチ内容を考え、英語に訳してクロームブックでALTの先生に録音していただき、確かな発音や表現力を身に付けようと、たくさん練習してきました。その結果、英語でスピーチする力がとても上達しました。シグナスの大きなステージでの発表は緊張したと思いますが、堂々と自分の思いを英語で伝えていました。とても素晴らしかったです。挑戦を通して、さらに英語への関心は高まったことでしょう。下級生の皆さん、バトンを受け継いでいきましょう。



条南小学校の出場者の皆さん



5年生の部 優秀賞
条南小 上◇ 美◇さん

2年生 性教育 赤ちゃん誕生



赤ちゃんがお母さんのお腹の中でどのように成長していたのか、養護教諭から学びました。ご家庭で用意していただいた赤ちゃんの頃の写真を見ながら、お腹の中で大切にされて育っていたことを感じ取っていました。3000gの赤ちゃん人形を抱いて、「お母さん重かっただろうなあ」と話していました。



3年生 津幡かるた教室 1月12日

津幡かるたを作成された「つばたふるさと探偵団」の皆様に直接津幡かるたについて詳しく教えていただきました。津幡かるたを通して、ふるさとつばたについて学んでいます。



4年生へ福祉の授業 総合的な学習

車いすで生活されている兼氏さんをお招きし、生活の中で不便に感じていることをお聞きしました。共生社会について、どう行動したらよいかさらに考え、探究していきます。



6年生へ中学校出前授業

1月18日、津幡南中学校の先生から、「3学期は中学校のゼロ学期、あいさつ、学習、生活リズムをレベルアップさせるように」とお話がありました。進学への希望が膨らむ時間になりました。「気づき挨拶」頑張りましょう。



6年生人権講座1月23日

人権擁護委員の橋口先生を招聘し、東京オリンピック誘致スピーチをされた、谷真海さんの生き方から、「困難を乗り越える」生き方を卒業を間近にした6年生と考えました。



6年生薬物乱用防止講座

1月27日、北陸大学薬学部の宇佐見教授を招聘し、薬物の恐ろしさと誘惑をどう断るのかを教えてくださいました。脳と健康を守るために「一回だけ」は通用しないことを学びました。



2月の学習目標 たくさん話し合おう

みんなが分かるためには、対話が必要です。分からないときは質問し、教え合うことでさらに話し合いが深まります。特にグループ対話を授業で取り入れ、みんなの考えを出し合ったり、教え合ったりする場を大切にしながら、授業を進めていきます。

聴き合いのめあて

- ① みんなが「わかった!」
- ② 考えをたくさん出す
- ③ 考えをまとめる
→ 1つに
→ いくつかのグループに
- ④ 「ぴったり!」を決める
- ⑤

2月の生活目標 クラスでめあてを決めて取り組もう

2月の生活目標は、次の学年に上がるまでに身に付けたいめあてを各クラスで決め、取り組みます。学級集団として、一丸となって頑張ってくれることを期待しています。以下の流れで行います。

- ① 5・6年生が学級会を実施し、クラスのめあてを設定します。
- ② 決まったことを集会で発表し、決意表明をします。
- ③ 集会を受けて、1～4年生は、学級会を実施し、クラスの目当てを決めます。
- ④ 玄関に各クラスのめあてを掲示します。

集会で5・6年生が前に出ることで、児童が主体的に取り組めるようにしていきます。



2月の安全目標 安全に休み時間を過ごそう

校内の事故が多い場所は、廊下や階段、ワークスペース等です。休み時間も安全に過ごせるように、一人一人の「KYT」(危険予知トレーニング)を高めていく必要があります。怪我が起きやすい時間帯は、「昼休み」、「長休み」、「授業中」の順でした。怪我が一番起きやすい場所は、なんと「教室」でした。どのような危険が潜んでいるか考え、自ら危険を避ける行動をとろうとする意識が大切です。身体が接触する遊びを避け、周囲の安全を確認し、危険を予知して行動できるよう、2月も呼び掛けていきます。

危険です
走らないでください



【3年生の詩の作品から】

